

〈ケア〉を考える会-岡山(第47回)

■日時：2019年9月1日(日) 16:00～

■会場：倉敷市真備町箭田 5188 (林道也 宅)

駐車場：「メインセンター遠田」 ⇒ 林宅から北東へ約 100m、
遠田池の堤防下(遠田池の北側)、小さな灯籠・祠とムクノキの大木が目印

■内容

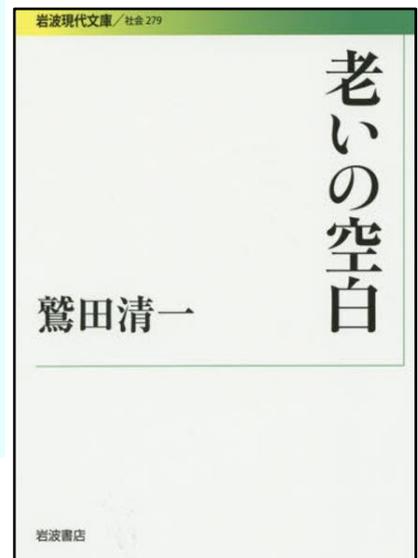
(1) 読書対話 16:00～ 本を読んで対話します

鷲田清一著『老いの空白』(岩波現代文庫) 第7章

この章のサブタイトルは——「いるだけでいい」「いつ死んでもいい」と言
い切れるとき——です。この本のまとめのような章といえます。
6章までを読んでいなくても、大丈夫です。単独でも読めます。

▼介護を受けているひとが介護を受けていると感じないよう、介護するじぶん
をどう消すことができるかという課題が介護にはあるのではない。▼介護
不能な老人、介護を拒否する老人をも含め、「呆けも寝たきりもそのままの姿
において肯定できるか」という問いが、老いのケアには突きつけられているの
ではないか。▼だれかに「ただいるだけでいい」とほんとうに言える根拠が果
たしてどこにあるのか。▼お世話するというより、人生のひとときを一緒に過ご
すというケアのあり方 ▼だれに看取られつつ死にたいか? これが惚ける前
の自己への最後の問い質しとなるだろう。▼ひとの「ある」は、それぞれに特
異な「受け止め手」との 小さな関係のなかにしか生まれてこない。▼生産性
とか効率性、有用性とか合理性を軸として構成されてきた社会をいわば別の
軸をとって書き換えるという課題が、ここに突きつけられている (第7章より)

★「Zoom」で参加することができます。 パソコンやスマホで。
⇒ <https://us04web.zoom.us/join/322686133>
⇒ 林までご一報を



(2) 懇親会 18:00～ 食べながら飲みながら語り合います。

懇親会だけの参加もありです。
食べ物・飲み物、持ち込み歓迎します。
もちろん、「手ぶら」で気軽にご参加を。



■会費：無料 (懇親会で持ち寄りできない方は 1000 円程度のカンパをお願いします)

★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。本を読んでいなくても(お持ちでなくても)参加可能。

★申し込み・問い合わせ⇒ 林まで：michi-care@outlook.jp 090-5366-1497



(「夜廻り猫」)

「〈ケア〉を考える会-岡山」ホームページ
<http://okayama-care.jimdo.com/>

